

平戸航太

1987年 7月 長崎市生まれ
 2000年 3月 伊王島町立伊王島小学校 (現 長崎市立伊王島小学校) 卒業
 2003年 3月 海星中学校 卒業
 2006年 3月 長崎県立長崎東高等学校 卒業
 2010年 3月 九州大学工学部機械航空工学科 卒業
 2012年 3月 九州大学大学院工学府機械工学専攻修士課程 修了
 2012年 4月 総合電機メーカー入社 設計者として勤務
 2023年 6月 こくみん政治塾 入塾
 2023年10月 国民民主党千葉県第7区総支部 総支部長に就任
 2024年 2月 国民民主党千葉県総支部連合会 副代表に就任

比例区は「国民民主党」へ

手取りを増やす。



流山市在住 小学生2人を子育て奮闘中


家族構成 妻、2人の子ども
趣味 スポーツ観戦、読書
座右の銘 好きこそものの上手なれ、縁の下の力持ち



国民民主党 重点政策 2024 政治の役割は「国のふところ」を豊かにすることではなく、「国民のふところ」を豊かにすること。賃上げ、インフレ、円安で増えた国の税収と税外収入(外為特会等)を国民に適切に還元します。そして、消費と投資を拡大させ、「令和の所得倍增計画」に取り組みます。

減税 ↓ 社会保険料の軽減 ↓ 生活費の引き下げ ↓ で、
みんなの手取りを増やす。↑

減税	▶ 所得税減税	●基礎控除等を103万円→178万円※に引上げ
	▶ 消費税減税	●年少扶養控除復活 ※1995年からの最低賃金の上昇率1.73倍に基づく
社保料負担軽減	▶ 現役世代の社会保険料軽減	●実質賃金が持続的にプラスになるまで一律5%
		●インボイス廃止
		●年齢ではなく負担能力に応じた窓口負担(後期高齢者医療における3割負担の対象拡大、高額療養費の自己負担限度額の見直し)
生活費引き下げ	▶ 電気代値下げ	●再エネ賦課金徴収停止
	▶ ガソリン代値下げ	●安全基準を満たした原子力発電所の再稼働
		●トリガー条項凍結解除
		●二重課税廃止によるガソリン減税



国民民主党の重点政策2024

1 給料・年金が上がる経済を実現

①消費・投資を拡大し持続的な賃上げを実現する『令和の所得倍増計画』

- 「消費」拡大：減税、社会保険料の軽減、生活費の引き下げで消費を喚起
- 「投資」拡大：半導体、蓄電池、AI、Web3.0等成長分野への投資減税、暗号資産への申告分離課税導入(雑所得として最大55%→20%に減税)
- 「中小企業・非正規賃上げ応援10策」：価格転嫁の徹底、賃上げ減税拡充、看護・介護・保育の処遇改善、「年収の壁」対策等

②年金

- 年金額に連動する賃上げに全力(給料が上がれば年金も上がる)
- 最低保障機能強化による安心の年金制度



2 自分の国は自分で守る

- 南海トラフ地震や首都直下型地震等への防災・減災対策強化(避難所となる体育館等の空調整備等)
- 「命の口座」登録で災害や感染症まん延時に申請不要で給付金を即振込
- エネルギー、食料、医薬品、半導体等の国内調達を拡充
- 「食料安保基礎支払」で食料自給率50%を実現
- 原子力発電所のリプレイス(建て替え)・新增設で輸入に頼らない安価で安定的なエネルギー確保、火力発電の効率化による現実的なカーボンニュートラルの推進
- 防衛産業の育成・強化、能動的サイバー防御の年内法制化
- 防衛施設周辺以外も対象とした「外国人土地取得規制法」の制定



3 人づくりこそ、国づくり

- 「教育国債」を年5兆円程度発行し、子育て、教育・科学技術予算を倍増
- 3歳から義務教育化で待機児童ゼロ、高校までの授業料完全無償化、給食代・修学旅行費等の無償化
- 子育て・教育、奨学金に関わる所得制限撤廃
- 「若者減税」(働く若者の所得税、住民税減免)、奨学金債務免除(最大150万円、教員・自衛官等は全額免除)
- 所得税の「塾代等控除」創設
- 「可処分時間確保法」*の制定
- ひとり人に寄り添うダブルケアラー、ビジネスケアラー、就職氷河期対策を推進、尊厳死の法制化を含めた終末期医療の見直し
- カスタマーハラスメント対策の法制化

*育児、介護等と仕事の両立、リスキリング等のための時間



4 正直な政治をつらぬく

- 裏金や「非公開・非課税のお金」を許さない。政治資金規正法の再改正、旧文通費は全面公開、政策活動費は廃止。
- 政治資金を監視する「第三者機関」を来年3月までに設置
- 衆参の選挙制度改革、政党法制定、国会改革等「令和の政治改革」を断行
- インターネット投票導入
- 被選挙権年齢18歳に引下げ
- 大規模災害などの緊急事態に国会機能を維持するための憲法改正



手取りを増やす。

